

「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」設立趣意

人の営みを通じて形成・維持されてきた二次的な自然環境は、多くの生き物にとって貴重な生息空間になっているほか、伝統文化や工芸、食文化などを育み、その豊かな恵みは、私たちの暮らしの基盤ともなっているが、近年、生活様式や産業構造、さらには社会経済の変化により、自然に対する人の働きかけが縮小・撤退し、里山などの二次的な自然環境やその自然資源の持続的な利用が失われつつある。

こうした中、平成22年10月に開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）では、生物多様性に関する新たな世界目標となる「愛知目標」とともに、二次的な自然環境における生物多様性の保全とその持続可能な利用の両立を図る「SATOYAMAイニシアティブ」が提唱され、同イニシアティブを世界的に推進していくことが採択された。

このような状況を踏まえ、今後、SATOYAMAイニシアティブが目指す「自然共生社会」の実現を図っていくためには、各セクターの主体的な取組に加え、多様な主体が協力、連携して、取組を進めていくことが重要である。

このため、今後、SATOYAMAイニシアティブの理念に賛同する企業、民間団体（NPO・NGO等）、研究機関、行政など、多様な主体がその垣根を越えた組織として「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」を設立する。

そして、様々な交流・連携・情報交換等を図るためのプラットフォームを構築し、生物多様性の保全はもとより、元気なSATOYAMAを創出する「生業づくり」や地域資源を活用した「地域振興」を推進し、もってSATOYAMAにおける生物多様性の保全や利用の取組の質的な向上と国民的取組の拡大を図る。

（参考）これまでの取組経過

■ 設立準備会合の開催

- ・ 第1回 3月25日、石川県（しいのき迎賓館）
- ・ 第2回 7月31日、東京都（都道府県会館）